



地域中核企業の創出に向けた新たな手法 「スタートアップとの協業」について



目次

1. Crewwのご紹介
2. スタートアップとの協業(オープンイノベーション)とは？
3. なぜ中小企業にオープンイノベーションが必要なのか？
4. お問い合わせ先(連携に関するご相談、ご質問等)

1. Crewwのご紹介

会社概要



会社名	Creww株式会社	資本金	10億8455万円(その他資本剰余金含む)
設立	2012年8月13日	従業員数	約40名(2024/2月現在)
代表取締役	伊地知 天	株主	経営陣 Incubate Fund SMBC Venture Capital 株式会社シグマクス・インベストメント East Ventures Mistletoe Japan合同会社 環境エネルギー投資 NOW SuMi TRUSTイノベーション投資事業有限責任組合 IFホールディングス株式会社 オープンイノベーションファンド投資事業有限責任組合 みらいコンサルティング株式会社 株式会社みらいワークス リッキービジネスソリューション株式会社 あわぎん未来創造投資事業有限責任組合 株式会社タスク 株式会社Fun&Creative Growth Innovation Fund
取締役	水野 智之 高橋 慧 高田 尚武 和田 圭祐		
監査役	葛巻 瑞貴		

日系企業向け(大手、中堅企業様)サービス

「事業会社の新規ビジネス創出」と「スタートアップの成長」を
目的としたオープンイノベーションサービス



事業会社様

500+ 回

プログラム開催実績

事業創出を加速させたい

- 新規事業のアイデアが欲しい
- デジタル化を促進したい
- 人材育成、風土改革したい



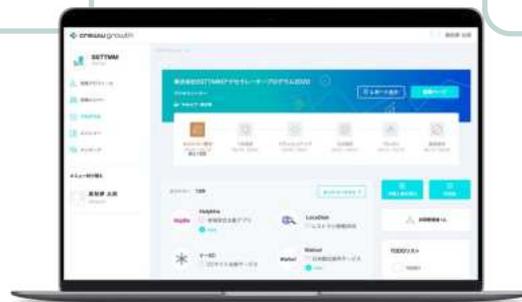
スタートアップ

8,000+

Creww登録数

成長を加速させたい

- ユーザー数を増やしたい
- 認知度を向上したい
- 資金調達したい



双方の成長機会に寄与する
クラウド型オープンイノベーションプラットフォームをご提供

日系企業向け(大手、中堅企業様)サービス

プログラム開催実績数
No.1
※1

Crewwは日本でのオープンイノベーション黎明期である2012年から、オープンイノベーション事業を展開し、日系企業×スタートアップの協業による新規事業創出や組織改革をサポートしてきました。

スタートアップと事業会社のオープンイノベーションにおいて、国内最大の協業実績を有しています。



スタートアップ登録数

8,000+



オープンイノベーション
プログラム開催回数

500+ 回



採択数(協議進行中含む)

1,350+ 件

2023/11現在



※1 2021年 オープンイノベーション支援に関する調査 プログラム開催実績数 1位 (株式会社ショッパーズアイ調べ)

*開催実績より一部抜粋

地方創生プロジェクト (全国の地銀様、自治体様との連携)

行政や地銀様と、6年間で30以上の地域プログラムをローンチしてきた実績



「47クルーズプロジェクト」は、地域に根ざした経営資源を持つ地域中核企業とスタートアップとのオープンイノベーションにより、該当地域に新たな価値を創出することを目的としています。地域のパートナーと一緒に全都道府県に広げていくことを目指しています。

神戸市	京都府	愛知県	佐賀県	愛媛県	埼玉県	広島県
山梨県	浜松市	岐阜県	鹿児島	掛川市	京都市	栃木県
東京都	静岡県	品川区	徳島県	神奈川	三重県	



2017年から開始し、毎年カバーエリアを広げています。地方行政や地銀など、ハブとなるパートナーとの取り組みにより複数年継続で各地でプログラムが開催されています。

これにより生まれた様々な協業の中には、日本の地域企業が持つ技術と、スタートアップのIoT・ロボティクス産業を繋げる良い事例がたくさん生まれています。

2. スタートアップとの協業 (オープンイノベーション)とは？

「オープンイノベーション」とは

オープンイノベーション:事業を創出する手段方法の 1つです

Closed Innovation

内製アプローチ

製品・サービスの企画開発から製品開発まで、ワンストップで**自社内のリソースのみを活用**し、事業創出をすること。

Open Innovation

外部共創アプローチ

自社単独ではなく、**企業間や産学連携での共同開発**を通じた事業創出によって、より大きな**社会的なインパクトを生む**こと。

「オープンイノベーション」とは

なぜオープンイノベーションが注目されているのか

コロナ禍においてビジネス構造の変革が求められている中で、合理的な事業創出の手法としてオープンイノベーションがより加速化。

こうしたトレンドの中でここ数年特にフォーカスされているのが、「スタートアップ企業とのオープンイノベーション」です。

顧客ニーズの多様化 --- ユーザーの論理

- インターネットの発達による情報の入手・発信が軽易に
- 多様な価値観に対応したサービスや商品が台頭
- コロナ禍の影響によりサービスや手段のデジタル化ニーズ



プロダクトサイクルの短期化 --- 企業の論理

- AI/ IoT /5G などの革新的な技術刷新
- 多様な新製品やサービス の急速な誕生
- 加速するサービス提供・開発プロセスのデジタル化ニーズ



- ✓ 各社ITリテラシーによって対応スピードに差が出てしまう
- ✓ クローズドイノベーションの体制では生産が追いつかない

スタートアップとは

「スタートアップ」とは

先進的な技術やアイデアを強みに、ゼロから市場やビジネスモデル創出に挑戦する成長速度の早い企業やプロジェクトのことを指します



スタートアップ

イノベーション

スケール

短期成長

Uber ∞ Meta  mercari
 SmartHR zoom



スモールビジネス

安定

バランス

長期成長

長期成長を目指す企業スタイル

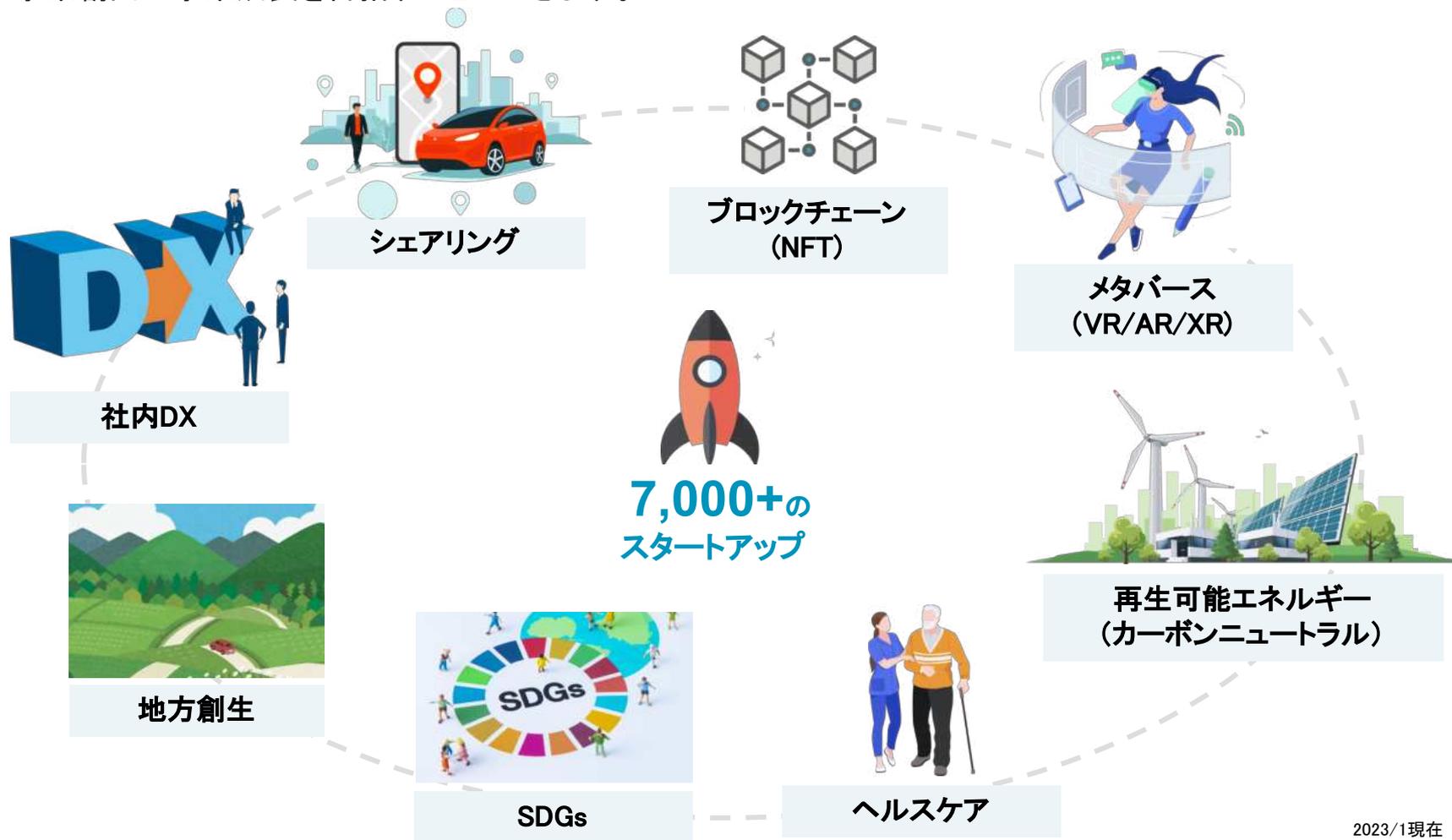


- 事業領域は様々だが、多くはITやテクノロジーを活用したビジネス
- ニッチ市場を独占するのが先で、その後周辺領域に市場を拡大する
- 成長期のスタートアップの価値は売上や利益では測れない
- 一見「悪いアイデア」に見えることもあるが実は「良いアイデア」

スタートアップ テーマ例

トレンドの先端にはスタートアップがいます。

社会課題や企業課題の解決、新たな市場や価値創造の実現を目指すスタートアップと共創し、事業創出や事業成長を目指すことができます。



スタートアップ 事例

多種多様なアイデア、技術を持つスタートアップ企業

※写真は一部参考イメージです

傘のシェアリングサービス アイカサ
(Nature Innovation Group)



水に特化したポータブル再利用ボックス
(WOTA)



駐輪場いらずの折りたたみ式電動バイク
(タタメルバイク)



長時間の立ち仕事をサポートするアシストスーツ (アルケリス)



スタートアップ 事例

会社が抱える課題に対して、スタートアップのサービスの導入で解決するのも、方法のひとつです。

営業促進

質の向上、効率化など



人事

採用、評価など



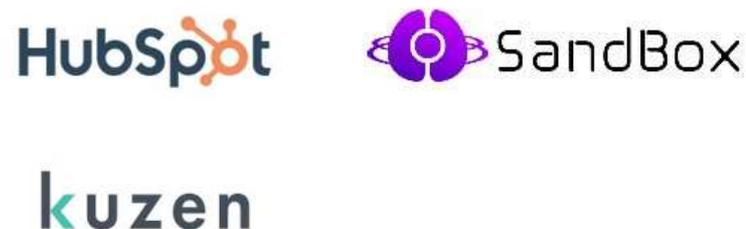
労務

勤怠管理、労務管理など



マーケティング

市場調査、分析など



経理

請求書発行、経費精算など



企画・戦略

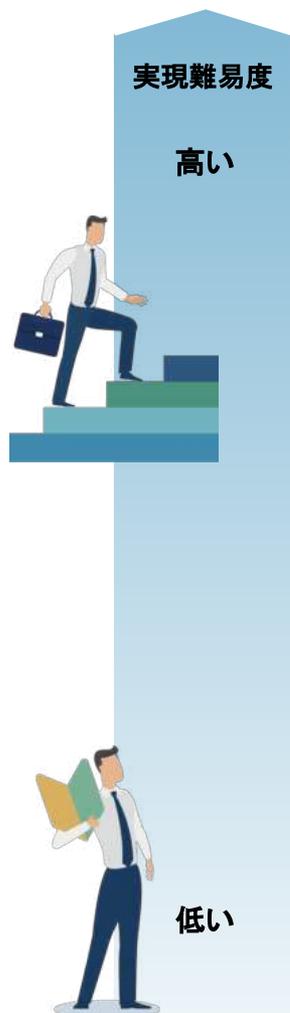
コンサルなど



事業会社がスタートアップと組む様々な目的

あらゆる課題の解決手段をスタートアップは持っています。

抱える課題によってスタートアップとの関わり方を柔軟に変えることができます。



A. 飛び地的な新規事業創出

「社内の既存経営資源」×「スタートアップのサービス」で、
両者が単独では創出できない領域での新規事業創出したい。

B. 既存事業のアップデート

変化の激しい現在のトレンドにおいて肝となっている、
既存事業のデジタルシフトをスタートアップ共創で実現したい。

C. ピンポイントでの課題解決パートナー探し

自社内だけではアイデア含め、補完できない注力テーマを
スタートアップのユニークなサービスと連携して解決したい。

D. サービス導入を通じた社内のデジタル化

社内の業務効率化・生産性向上といった、足元の社内課題を、
スタートアップの多種多様なソリューションを活用して解決したい。

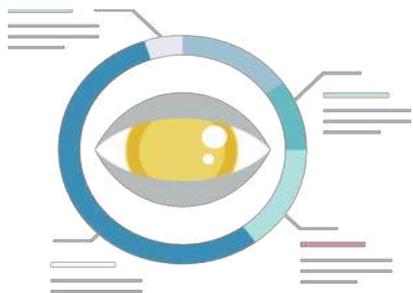
— スタートアップ共創を通じたメリット (まとめ)

事業軸で期待できるメリット



1. 合理的かつ実現可能な新規事業創出

- 互いは既に持っているリソースを持ち合わせる事により、内製アプローチよりも新規ビジネス創出におけるスピード感や成功確度を高める事が可能
- スタートアップ共創の場合、多くの日系企業でナレッジが乏しいテクノロジー領域を補完し得るパートナーとなるため、DX推進やITを絡めた新規ビジネス創出を推進可能



2. 自社内では想定できない既存経営資源の利活用

- 新たな事業領域へのきっかけとなる「自社のリソースの魅力」への気づき
- ユニークな技術やアイデアを持つスタートアップ共創においては、自社では想定できない様な視点での可能性の模索が可能

組織軸で期待できるメリット



3. 人材育成と企業風土の変革

- 社外との事業開発という外部からの刺激を通じた、アントレプレナーシップの醸成
- イノベーター人材の発掘・育成をきっかけとした、中長期的な企業風土の変革

3. なぜ中堅・中小企業に オープンイノベーションが必要か？

全国の中堅、中小企業の実態

大半の中小企業は現状維持では衰退が見えている外部環境

中小企業

中小企業を支えるべき地銀、土業



取り巻く環境

コロナ過で更に加速化したデジタル化の波・ビジネストレンドの変化によって、今後市場がシュリンク又はテクノロジーに代替される事が予測される業態に大半の企業が属している

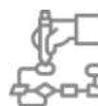
地域経済の成長鈍化や地銀再編の波に直面している中で、地域と共に成長ができる新しい付加価値の創出が急務



解決に向けて本来必要な事

既存ビジネスのデジタルシフト、新規事業の創出など、自社と取り巻く環境変化を見据えた事業戦略のスピーディな推進

財務的な支援の一辺倒でなく、より地域を支える中小企業の事業成長に寄与する役割を担う為の施策実行



実行にあたる障害

ITリテラシーが相対的に低く、先進的なビジネスに触れる機会も乏しい為、そもそも先を見据えた事業戦略をどう推進するべきか分からない

中小企業が抱える事業課題の解決支援ノウハウは持っておらず、デジタル分野に関する知見やネットワークも乏しい為、本質的な施策実行ができず



支援者が解決支援できる、すべき事とは？

- ・自社内では補完できない先進的なビジネスを行っているプレイヤーとの協業による、**時流を見据えた事業成長機会の提供**(事業軸)
- ・オープンイノベーションを通じた、**イノベーター人材の育成機会**や**チャレンジングな組織風土情勢**(組織軸)

地銀が持つ地場の中小企業への豊富なネットワークを通じて、事業成長に直結するソリューションを提供する事による、**地銀の新たな介在価値の創出支援**

中堅・中小企業様の開催事例（一部抜粋）

 <p>株式会社水野鉄工所</p> <p>アクセラレータープログラム</p> <p>スタートアップx水野鉄工所 共創プログラム2021</p> <p>自動車部品を中心に冷間鍛造、切削、研削の加工方法を組み合わせ小物精密部品を加</p> <p>🕒 エントリー受付終了</p> <p>📊 エントリー募集終了</p> <p>詳細を見る ></p>	 <p>株式会社カズマ</p> <p>常時募集プログラム</p> <p>子供の視力低下という課題に対するソリューションの募集</p> <p>株式会社カズマは、「生きるをずっと、心地よく。100年間、やさしく、つよくいら</p> <p>🕒 エントリー受付終了</p> <p>📊 エントリー募集終了</p> <p>詳細を見る ></p>	 <p>株式会社山田製作所</p> <p>アクセラレータープログラム</p> <p>YAMADA アクセラレーター 2021</p> <p>信頼と技術の証、YAMADAのイーグルマーク 四輪車、二輪車のエンジン用オイル</p> <p>🕒 エントリー受付終了</p> <p>📊 エントリー募集終了</p> <p>詳細を見る ></p>	 <p>吉南株式会社</p> <p>常時募集プログラム</p> <p>吉南株式会社xスタートアップ 共創プログラム</p> <p>私たちキチナグループは、物流を通して幸せと喜びに溢れる社会づくりに貢献し、</p> <p>🕒 エントリー受付終了</p> <p>📊 エントリー募集終了</p> <p>詳細を見る ></p>
 <p>ソシオークホールディングス株式会社</p> <p>アクセラレータープログラム</p> <p>ソシオークグループアクセラレータープログラム2021</p> <p>ソシオークは、社会を意味する「Socio」と大樹の意味を込めた「Oak」を組み合わせ</p> <p>🕒 エントリー受付終了</p> <p>📊 エントリー募集終了</p> <p>詳細を見る ></p>	 <p>株式会社ムサシ</p> <p>アクセラレータープログラム</p> <p>ムサシ「スタートアップ共創プログラム2021」</p> <p>当社は金物産地の兵庫県三木市の地場産業を出自として1983年に設立いたしました</p> <p>🕒 エントリー受付終了</p> <p>📊 エントリー募集終了</p> <p>詳細を見る ></p>	 <p>三喜商事株式会社</p> <p>アクセラレータープログラム</p> <p>SANKIアクセラレーター2021</p> <p>三喜商事は1956年の設立以来、ヨーロッパを中心とする一流ブランドを日本に紹介し、さまざまな交流から生まれたネットワ</p> <p>🕒 エントリー受付終了</p> <p>📊 エントリー募集終了</p> <p>詳細を見る ></p>	 <p>株式会社カナエ</p> <p>アクセラレータープログラム</p> <p>KANAEアクセラレータープログラム2021</p> <p>当社は1956年（昭和31年）の創業で、軟包装材料の商事販売という事業からスタ</p> <p>🕒 エントリー受付終了</p> <p>📊 エントリー募集終了</p> <p>詳細を見る ></p>

4. お問い合わせ先 (連携に関するご相談、ご質問等)

最後に

★お問い合わせ先

本テーマにおける連携に関するご相談、ご質問等あった際には
下記メールアドレスまでお気軽にご連絡下さいませ。

・担当者

Creww株式会社 中島克也

・お問い合わせ先メールアドレス

Bravo@creww.me